

平成 28 年度 事業報告

平成 28 年度は、設立 50 周年を迎え、さまざまな記念事業を開催しました。また、新たな中期 5 年計画のもと、「行動しよう！笑顔のために」を活動目標として、さらに社会のニーズにあわせた事業を実施しました。

公益目的事業 1 豊かな人間性を涵養するボランティア理解と普及に関する事業

(1) 研修事業

①輪になって語り合おう

ボランティアの研修・スキルアップを目的に、ボランティア自らが企画し運営する会を開催いたしました。

・開催日：9月17日(土) 「ラオスの手織り」 参加者数：8名

②はじめの会

新年度のスタートにあたり、あすでの理念や目的を登録者と再確認し、1年間のあすでの事業を共有する場として開催いたしました。

・開催日：4月2日(土) 参加者数：110名

(2) 広報事業

①あすでの日

あすでの設立 50 周年を記念し式典を開催するとともに、より多くの市民とともに祝うために「スマイルフェスタ」を開催いたしました。また、あわせて記念誌と史誌「肩書きを外しましょう」を発行いたしました。

・開催日：12月11日(日) 記念式典 参加者数：128名
スマイルフェスタ 参加者数：378名

②広報・記録

あすでの情報を内外に発信することを目的に、あすでのホームページを自前で作成し運営しました。また、館内掲示を充実させ、他団体の事業にも積極的にPRブースを出展したほか、リーフレットの作成、隔月で通信「むすび」を発行し、あすでの事業のPRにつとめました。あわせてあすでの日々の活動を写真・ビデオなどで記録し、ホームページ上で発信したほか、あすでのPR資料作成などに活用いたしました。

公益目的事業2 地域の健全な発展のために活動するボランティアグループに対する支援に関する事業

(1) ものづくり事業

①森のプレゼント

間伐材を活用した木工製品づくりによる社会貢献活動をグループとともに行いました。

- (1)豊田市環境政策課の依頼により、幸せの「木」色い積み木 16 箱を製作
- (2)アイシン精機の協賛による積み木 100 セットを製作(刈谷市内保育園に寄贈)
- (3)豊田自動織機の協賛によるベンチ 12 脚を製作(碧南市内幼稚園・保育園に寄贈)
- (4)トヨタ自動車 SX 会、EX 会、上郷 EX 会の社会貢献活動を支援

②初代カローラを間伐材でつくるプロジェクト

あすての設立 50 周年を記念し、豊田市の間伐材を活用した原寸大の初代カローラを、森のプレゼントを中心に、市民、企業の協力も得て製作しました。

(2) 環境事業

①あすて地球緑化プロジェクト「砂漠化防止のための中国植林活動」

日本人と中国人のボランティアが協力して砂漠化を防止し、地球環境のことについて、ともに汗を流しながら考える機会とすることを目的に、アイシングループの協力のもと、4月27日(水)～5月1日(日)の日程で、中国内モンゴル自治区シリングル盟シリンホト市近郊の砂漠地帯にて4回目の現地活動を実施し、2万平米の土地に50,000本の黄柳、45,000本の楊紫、1,200本の障子松、5,000本のソウソウ、2,000本のサジを植林しました。また、夏の植林活動に向けた試行として、華豊の友が8月10日(水)～14日(日)に現地活動を行いました。その他、植林活動へのチャリティーを目的に、11月13日(日)にアイシン精機課長会、アドヴィックス課長会、アイシン高丘部課長会と合同で「エコファミリーウォーク」を開催いたしました。

- ・現地植林活動参加者数：あすて一般公募9名、アイシン国内グループ11名、
アイシングループ中国現地法人53名 計73名
- ・エコファミリーウォーク参加者数：479名

②竹守り

グループが主体となって竹藪の間伐と間伐竹を利用した竹炭・竹製品の製作活動を行いました。

③美化活動

あすて施設内の清掃活動、樹木の剪定、花壇の整備、季節の飾り付け等のボランティア活動をグループとともに進めました。

(3) 福祉事業

①人的支援活動

地域の高齢者がいつまでも元気で過ごせるための講座「いきいきタイム」をグループが講師となって年間を通して開催いたしました。

・開催回数：44回 参加者数：延べ225名 講師ボランティア参加者：延べ362名

また、子育て中のお母さんたちを支援する活動として「すくすくママ」を実施し、11月21日(月)にはお母さんたちが主体となって「ありのママフェスタ」を開催いたしました。

・参加者数：700名

②ジオラマ

鉄道ジオラマの運行を、ボランティアが主体となって行い、地域の方々に開放いたしました。

③募金・収集ボランティア

あすて利用者の協力により、年間を通してベルマークなどの収集活動を行い、日本ユニセフ協会などに寄付いたしました。

・ベルマーク 7691.8点(寄付先：梅ヶ丘学園)

・外国紙幣・コイン 34枚1068個(寄付先：日本キリスト教海外医療協会)

・使用済み切手 約8kg(寄付先：日本キリスト教海外医療協会)

・未使用タオル 132枚(寄付先：こどもの里)

・未使用文具 ノート32冊、鉛筆79本、ボールペン217本ほか(寄付先：梅ヶ丘学園)

また、華豊の友が主体となって、熊本地震への支援を目的としたチャリティーコンサートを行いました。

・開催日：6月4日(土) 参加者数：482名(内出演・関係者102名)

その他、利用者が不用品等を持ち寄り、あすて内で販売しその収益をあすての森募金などに寄付するミニバザー、ボランティアによる利用者へのランチとコーヒーの提供を通し、収益を同じくあすての森募金に寄付するランチ&カフェを行いました。

・ミニバザー収益寄付総額：525,000円

・ランチ&カフェ収益寄付総額：145,764円

・開催回数：ランチ143回4,865食・カフェ86回1,161杯

(4) グループ支援事業

①活動施設の提供

グループが日々の活動を円滑に、また活発にできるよう、活動場所の調整、登録を行いました。

登録グループ数：41 登録者数：812名

②グループに対する相談対応・指導

グループが日々の活動を円滑に、また活発にできるよう、相談対応・アドバイスを行いました。

公益目的事業3 多文化共生を推進し、国際相互理解を図るための国際交流・国際協力及び外国人支援に関する事業

(1) 国際交流事業

①文化交流

グループが主体となって、太鼓や陶芸、文化紹介などの国際交流活動を進めました。

②いいとこ発見ツアー

公共交通機関を利用し、外国人に豊田市の魅力を発見し好きになってもらうためのツアーを年間を通して行いました。

・開催回数：10回 参加者数：271名

(2) 国際協力事業

①チャレンジアジア

チャレンジアジアのOBで構成するグループ「あカンテ」が中心となって、カンボジアの水質浄化を目的とした浄水器の製作やブース出展などでカンボジアの支援活動を行いました。

②難民支援

市内外の国際協力団体が一堂に会し、世界の難民や途上国の現状を知ってもらうためのイベント「国際協力フェスタ」を開催いたしました。

・開催日：7月10日（日） ・参加者数：600名（内出展関係者160名）

(3) 多文化共生事業

①たのしいにほんご

とよた日本語学習支援システムによる日本語学習を3期(各期12回)に分けて開催しました。

- ・第19期 5月13日～7月29日 受講生延べ151名 ボランティア延べ201名
- ・第20期 9月9日～12月2日 受講生延べ201名 ボランティア延べ189名
- ・第21期 1月6日～3月24日 受講生延べ154名 ボランティア延べ188名

公益目的事業4 地域の健全な発展を図るために必要な担い手づくり及び児童・青少年の育成に関する事業

(1) 青少年支援事業

①クルマづくり究めるプロジェクト

クルマづくりを通して青少年の健全育成とものづくりに主体的に挑戦する人材の育成を目的に、豊田市と共催で実施。「入門」「研究」「挑戦」の3つのコースを設け、土曜日を中心に年30回程度実施しました。

・参加者数：3コース計117名 指導員ボランティア数：256名(事務局含む)

②パパレンジャー

豊田市の若手男性保育師が主体となって、父親の子育てを支援するイベント「パパレンジャー」を開催しました。

・開催回数：5回 参加者数：延べ 536名

③新しい企画の受入れ

からくり的発想によるものづくり人材の育成・発掘を目的に、「からくりエイト大賞」を設け、全国から 52 点の応募があり、二次審査を経て 8 点に賞を授与いたしました。また、入賞作をはじめとしたからくり作品の展示・体験、からくり人形師・九代玉屋庄兵衛氏と工学博士・末松良一氏による対談などのイベント「からくりリンピック」を開催し、からくりの魅力を発信しました。

・からくりリンピック開催日：3月26日（日） 参加者数：300名

④青少年に対する相談対応・指導

あすてを利用する青少年に対し、相談対応、助言等を行いました。

その他事業

①企業研修の受け入れ

賛助企業の研修に対し、会議室等の場所及びボランティア研修メニューの提供等を行いました。

②他団体との共働・協力・共催

1月29日(日)に、「社会人のための地域参加促進セミナー」を、豊田市社会福祉協議会、とよた市民活動センター、トヨタ自動車労働組合、おいでんさんそんセンターと共催で実施いたしました。その他、関係団体の事業への協力を年間を通して積極的に行いました。